

事務事業評価シート（1/2）

289 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0097
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00326
 進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 敬老事業

所属長名 西本 美和
 記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	014	敬老事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市敬老祝状等の贈呈に関する要綱				
事業概要	(事業概要) 敬老祝記念品の贈呈（88歳、100歳、男女最高齢者）、学区敬老事業祝金の支給。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者の増加に伴い、対象者数も増加している。 (見直しや改善等の経過) 対象者の増加に伴う経費増に対応するため、平成26年度より祝い金贈呈から敬老祝記念品の贈呈に変更。平成28年度で記念品贈呈を終了し、29年度より祝状を贈呈している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	88歳、100歳及び男女最高齢者に
目的(何のために)	多年にわたり社会を支えてきた高齢者の長寿を祝うとともに、敬愛の意を表し、あわせて高齢者自ら心身の健康の向上に努める意欲の増進に資するため
手段(どのようなやり方で)	祝状の贈呈、各学区社会福祉協議会に70歳以上人口応じ、11～20万円を支給することで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者に対する敬愛精神の普及、高揚及び高齢者自身の健康意識の向上を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,582	11,376	10,038	10,350	10,558	10,479	10,900
事業費	7,252	7,401	7,708	8,020	8,228	8,149	8,570
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,252	7,401	7,708	8,020	8,228	8,149	8,570
人件費計	3,330	3,975	2,330	2,330	2,330	2,330	2,330
事務・技術(人)	0.30	0.45	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.15	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

290 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0097
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00326 敬老事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-55-00-01-00	敬老事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 敬老祝状受給者数	人	1,800.00	1,880.00	2,050.00	2,020.00	2,100.00	1,920.00	2,150.00
		1,712.00	1,862.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 敬老事業実施数	学区	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		36.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者への敬愛の意を表明する方策として妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	高齢社会に対する認識の向上や、健康意識の向上が図られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	民生委員による贈呈により、高齢者の見守りも図れ効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者に対する敬愛意識及び健康意識の向上が推進されている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	高齢者に対する敬愛意識の醸成を図るとともに、地域ぐるみでの見守り体制を構築する一助とするため、民生委員の協力を得て、引き続き祝状の贈呈を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者を支えあう地域づくりに向けて事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

292 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0098
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00327

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 高齢者労働能力活用事業

所属長名 西本 美和
 記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	001	高齢者労働能力活用事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者就業機会確保事業費補助金基準					

事業概要	(事業概要) 公益社団法人大津市シルバー人材センターに運営費等を補助あるいは事業を委託することで、高齢者の就業機会の増大、社会参加の促進等を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人生100年時代といわれる超高齢社会において、働く意欲のある高齢者の多様なニーズに対応した就業機会の創出や生きがいの創出が求められている。 (見直しや改善等の経過) 従来の運営補助に加え、シルバー人材センターの中長期経営計画の策定委員会への参加や、シルバー人材センターと適宜情報交換する機会を設け、今後の事業展開や方向性について意思疎通を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公益社団法人大津市シルバー人材センター					
目的(何のために)	高齢者の就業機会の増大を図ると共に、社会参加を促進するため					
手段(どのようなやり方で)	運営補助金等を交付することにより					
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを促進する。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,675	17,201	17,805	20,847	20,847	20,847	20,847
事業費	15,875	15,875	16,245	19,287	19,287	19,287	19,287
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,875	15,875	16,245	19,287	19,287	19,287	19,287
人件費計	800	1,326	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560
事務・技術(人)	0.10	0.17	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

293 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0098
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00327 高齢者労働能力活用事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-57-00-01-00	高齢者労働能力活用事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)助成額	千円	15,525.00	15,525.00	15,895.00	18,937.00	18,937.00	18,937.00	18,397.00
		15,525.00	15,525.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)会員数	人	1,600.00	1,650.00	1,670.00	1,690.00	1,710.00	1,730.00	1,730.00
		1,632.00	1,654.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就業率	%	0.00	76.80	78.40	80.00	80.00	80.00	80.00
		0.00	61.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就業延人員	人	0.00	148,920.00	159,600.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00
		0.00	108,324.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者の就業機会及び生きがいの充実に貢献している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	高齢者の能力活用の場を確保し、能力発揮の機会を提供している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	高齢者の特性を熟知した団体に補助し、効率よく事業展開できる。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の能力活用に積極的に取り組み、社会参加に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	国の補助制度に併せてシルバー人材センターの補助を実施。令和5年度より、介護施設における就業機会確保に向けた取組をすすめており、補助金を増額した。今後も高齢者の能力を活用した新たな就業機会の場を創出し、高齢者の生活の安定、生きがいの向上、健康の維持・増進及び企業の人手不足の解消や地域社会の維持・発展等を推進するため補助・支援をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	高齢者の生きがい就労の担い手として、シルバー人材センターを支援していく。		

事務事業評価シート（1/2）

295 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0099
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00328

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 老人クラブ活動助成事業

所属長名 西本 美和
 記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	002	老人クラブ活動助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市単位老人クラブ活動補助金交付要綱				
事業概要	(事業概要) 高齢者の健康生きがいづくりや仲間づくりに向けて、老人クラブに対し補助金を交付し、老人クラブ活動の活性化を促進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者が増加しているものの、地縁組織である老人クラブへの参加率は低迷している。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動実施の自粛や縮小せざるを得ない状況が続いたことも影響し、単位老人クラブ会員数は減少の一途をたどっている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの事業活動をされる中で、活動の活性化を図るべく令和2年度から補助金の対象を広げ、利用の手引きについても見直しを行った。また、令和4年度は、あんしん長寿相談所が発行している「あんしん長寿相談所だより」に老人クラブ活動について掲載し、啓発に努めた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	60歳以上の高齢者を会員とする老人クラブに対して
目的(何のために)	高齢者の親睦と交流、健康増進、教養の向上をはかるために
手段(どのようなやり方で)	活動補助金を交付し
成果(どのような状態にするのか)	老人クラブ活動を支援することで、高齢者の健全で豊かな生活を促進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,406	15,071	16,552	16,643	16,643	16,643	16,643
事業費	12,076	11,486	12,409	12,500	12,500	12,500	12,500
国庫支出金	4,220	3,898	3,829	3,811	3,811	3,811	3,811
県支出金	129	86	93	122	122	122	122
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,727	7,502	8,487	8,567	8,567	8,567	8,567
人件費計	3,330	3,585	4,143	4,143	4,143	4,143	4,143
事務・技術(人)	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.15	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

296 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0099
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00328 老人クラブ活動助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-59-00-01-00	老人クラブ活動助成事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)助成額	千円	13,000.00	13,607.00	12,050.00	12,134.00	12,134.00	12,134.00	12,134.00
		11,229.00	10,700.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)老人クラブ数	団体	130.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		118.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)会員数	人	6,000.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00
		5,394.00	4,659.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	高齢者の地域活動を支援する上で、補助金交付は妥当である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	補助することで、老人クラブの活性化につながっている。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	クラブの自主性を尊重するには補助という形が一番効率的である。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	老人クラブの活動は、健康増進、介護予防に寄与している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	老人クラブ会員数は減少の一途をたどっていることを踏まえ、補助金は継続の上で、単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の活性化に向けた支援策について検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者の自主的な活動を支援するため、補助事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

298 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0100
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00330

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 老人日常生活用具給付等事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実		
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進		
事務事業	015	老人日常生活用具給付等事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱			
事業概要	(事業概要) 一人暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置、電磁調理器・火災警報器を貸与又は給付する。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 一人暮らし高齢者の増加により、緊急時にボタン1つで救急要請が可能な緊急通報装置や電磁調理器・火災警報器への需要は引き続きある。 (見直しや改善等の経過) 緊急通報装置は、これまで利用可能な回線がN T T回線のアナログの回線に限られていたが、平成25年度からN T T回線以外の光回線、令和5年度からは携帯電話回線を利用可能とした。また、令和5年度からは協力員が1名でも利用可能とした。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	概ね65歳以上の一人暮らし高齢者等
目的(何のために)	要介護状態になる一人暮らし高齢者等の在宅生活の安全、安定を図る。
手段(どのようなやり方で)	緊急通報装置、日常生活用具（電磁調理器・火災警報器）の給付又は貸与を行う。
成果(どのような状態にするのか)	緊急通報装置の設置により、高齢者の緊急時の通報及び救急活動が速やかに行えるようになる。日常生活用具（電磁調理器・火災警報器）の導入により、火災予防につながる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,972	11,084	11,104	11,747	11,747	11,747	11,747
事業費	10,492	9,826	9,846	10,489	10,489	10,489	10,489
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,492	9,826	9,846	10,489	10,489	10,489	10,489
人件費計	2,480	1,258	1,258	1,258	1,258	1,258	1,258
事務・技術(人)	0.31	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

299 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0100
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00330 老人日常生活用具給付等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-08-00	老人日常生活用具給付等事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)緊急通報装置他 給付件数	設置数	75.00	75.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		76.00	94.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)緊急出勤数	回数	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		140.00	82.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	一人暮らし高齢者の在宅生活の安心・安全につながっている。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	一人暮らし高齢者の在宅生活の安心・安全につながっている。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	地域での見守り体制の強化につながっている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	増加する一人暮らし高齢者の安心・安全な生活維持に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	緊急通報装置は、疾病や障害を持ち不安を抱えながら生活しておられる一人暮らしの高齢者にとって、在宅生活の安心・安全につながるものであり、日常生活用具については火災防止に役立つことから地域住民の安心にもつながっている。緊急通報装置については、協力員を作ることでより地域の見守り強化につながる反面、協力員が見つからず、利用できない高齢者もいることから、協力員の人数見直しを行った。今後、独居高齢者の生活を支えるための支援について検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	日常生活の不安を解消し、在宅生活を維持する上で必要な事業であり、今後も事業手法を検討しながら継続していく。		

事務事業評価シート（1/2）

301 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0101
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00337

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 老人小規模住宅改造助成事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002 心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	004 高齢者の福祉・介護の充実		
取組の方向性	001 高齢者が元気で活躍する暮らしの推進		
事務事業	016 老人小規模住宅改造助成事業		
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱		
事業概要	(事業概要) 65歳以上の要介護高齢者に対し、排泄や入浴、移動等を容易にするための住宅改修に必要な経費の2分の1（上限額250,000円）の額を支給する。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、住宅改造の需要は継続している。 (見直しや改善等の経過) 県の自治振興交付金の改正により、県補助額が減少したことに伴い、本制度の補助率も平成21年度から2/3から1/2（上限）に見直した。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の寝たきり又はこれに準ずる状態の高齢者
目的(何のために)	在宅生活の安全を図る。
手段(どのようなやり方で)	入浴、排泄、歩行等の日常生活動作を容易にするための、住宅の改造工事経費の2分の1の額を支給する。
成果(どのような状態にするのか)	在宅生活上のバリアフリーを実現し、日常生活上の安全性が確保できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,873	16,087	15,021	16,061	17,183	17,393	19,699
事業費	11,593	14,395	13,329	14,369	15,491	15,701	18,007
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	4,951	5,634	6,576	7,096	7,657	8,262	8,915
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,642	8,761	6,753	7,273	7,834	7,439	9,092
人件費計	3,280	1,692	1,692	1,692	1,692	1,692	1,692
事務・技術(人)	0.41	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

302 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0101
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00337 老人小規模住宅改造助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-09-00	老人小規模住宅改造助成事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)助成額	千円	11,836.00	12,849.00	13,153.00	14,193.00	15,315.00	16,525.00	17,831.00
		11,539.00	14,254.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	160.00	160.00	170.00	175.00	180.00	185.00	190.00
		138.00	172.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	介護保険制度を補完する制度として妥当である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	在宅生活を継続するために有効な手段である。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	介護保険制度と申請書を統合する等、効率化を図っている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	介護者の負担軽減、高齢者の在宅生活の安全確保に貢献している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業は、介護保険制度の住宅改修を補う事業として、支給限度額を超える工事も対象としていることから、対象者の経済的負担の軽減と在宅生活の安全確保に役立っており、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	要介護者の在宅生活が継続できるよう、引き続き適切な事業実施に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0102
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00347

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 ショートステイ事業

所属長名 西本 美和
 記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	017	ショートステイ事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱				
事業概要	(事業概要) 65歳以上の社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者や、虐待により保護・分離する必要がある高齢者を対象に、養護老人ホームへ一時的に保護する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者の増加に伴い、社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者や、虐待により保護・分離する必要がある高齢者が増加傾向にあることから一時的に保護できる当該事業が必要である。 (見直しや改善等の経過) 高齢者虐待による分離や一時保護で利用するケースが主であるが、高齢者が施設での入所が妥当であるとの判断となればショートステイ利用から措置入所に切り替えるようにしている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者、虐待を受けている高齢者
目的(何のために)	支援が必要な高齢者の生活の安定を図るため
手段(どのようなやり方で)	養護老人ホームで一時的に保護する。
成果(どのような状態にするのか)	一時保護することで、高齢者の安全や生活を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,388	4,534	6,414	6,414	6,414	6,414	6,414
事業費	1,508	790	2,748	2,748	2,748	2,748	2,748
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,508	790	2,748	2,748	2,748	2,748	2,748
人件費計	2,880	3,744	3,666	3,666	3,666	3,666	3,666
事務・技術(人)	0.36	0.48	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

305 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0102
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00347 ショートステイ事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-71-00-02-00	ショートステイ事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 利用日数	日	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		430.00	216.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 利用者数	人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		15.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者を一時的に保護する事業であり妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	居室を確保する事業として有効である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	緊急時に一時保護の対応ができるよう体制を整えている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の安心・安全確保につながる事業として貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も社会的適応が困難なひとり暮らし高齢者や虐待時の緊急一時保護先としてのセーフティネットの視点から、非常に重要な事業であるため、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者虐待による緊急分離や一時保護において必要な事業であるため、今後も事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

307 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0103
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00350 「食」の自立支援事業（一般）

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	021	「食」の自立支援事業（一般）				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法 大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 65歳以上の調理が困難で見守りが必要な高齢者に対して、安全で栄養バランスのとれた昼食を高齢者の居宅に配達し、当該高齢者の食事の確保及び安否確認を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、調理が困難なひとり暮らし高齢者やこれに準じる高齢者世帯が増加している。 (見直しや改善等の経過) 全利用者への現況調査を実施し、委託業者に対して必要な指導を行ってきた。平成29年度からは、総合事業の開始に伴い、事業の一部を総合事業に移行した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	調理が困難で見守りが必要な65歳以上の高齢者に
目的(何のために)	食事の確保と安否確認のため
手段(どのようなやり方で)	安全で栄養バランスのとれた昼食を高齢者の居宅に配達し
成果(どのような状態にするのか)	栄養バランスのとれた食事を確保すると同時に見守りを行う。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,699	22,981	20,880	24,342	29,876	34,949	40,930
事業費	17,346	21,441	19,340	22,802	28,336	33,409	39,390
国庫支出金	6,678	8,255	7,446	8,779	10,909	12,862	15,165
県支出金	3,338	4,127	3,723	4,389	5,455	6,432	7,583
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,989	4,931	4,448	5,244	6,517	7,684	9,060
一般財源	3,341	4,128	3,723	4,390	5,455	6,431	7,582
人件費計	1,353	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540
事務・技術(人)	0.08	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.23	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

308 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0103
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00350 「食」の自立支援事業（一般）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-07-00	「食」の自立支援事業費（一般）	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)配食数	食	44,000.00	48,000.00	50,000.00	58,900.00	69,400.00	81,800.00	96,400.00
		44,973.00	55,120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)安否確認数	人	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		4.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域支援事業（任意事業）に基づくものであり妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	食事（栄養）確保、配達時の異常発見につながっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	食事（栄養）確保と安否確認を1つの事業で成立させている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	食事確保と安否確認により、高齢者福祉の充実に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	認知症高齢者や虚弱高齢者の食生活の改善につながることに加え、市内全域での安否確認や緊急時の早期発見及び早期対応は大変重要であることから、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	在宅生活を送る高齢者の食生活改善や安否確認に有効な事業であり、今後も事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

310 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0104
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00351

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 地域包括支援センター運営事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	001	地域包括支援センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) 本事業は、地域包括支援センター業務の一部として、指定介護予防支援事業者である地域包括支援センターが、要支援の認定を受けた高齢者及び総合事業対象者に対し、サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、サービスの目標の達成状況の評価等を行う。(介護予防支援業務の一部を民間の事業者へ委託)					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、介護保険の要支援認定者数及び総合事業対象者数が増加している。 (見直しや改善等の経過) あんしん長寿相談所(地域包括支援センター)については、瀬田北・瀬田東圏域(平成29年度)、富士見・晴嵐圏域(平成30年度)、滋賀・山中比叡平圏域(平成31年度)、葛川・伊香立・真野・真野北圏域(令和2年度)、木戸・小松及び下阪本・唐崎圏域(令和4年度)を順次委託により開設し、事業運営の効率化を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要支援認定者(要支援1又は要支援2)及び総合事業対象者である介護保険被保険者を対象に
目的(何のために)	高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう
手段(どのようなやり方で)	介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、サービスの目標の達成状況の評価等を行う。
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと自分らしく安心して暮らし続けることができる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	130,622	135,408	119,120	136,004	136,004	136,004	136,004
事業費	124,366	129,655	112,977	129,861	129,861	129,861	129,861
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	124,366	129,655	112,977	129,861	129,861	129,861	129,861
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	6,256	5,753	6,143	6,143	6,143	6,143	6,143
事務・技術(人)	0.72	0.67	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.16	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

311 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0104
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00351 地域包括支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-85-00-03-00	地域包括支援センター運営事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)介護予防委託先事業者数	箇所	175.00	175.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		163.00	172.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)介護予防サービス計画等作成件数	件	42,000.00	42,000.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00
		37,385.00	37,344.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	介護保険法の規定に基づくものであり妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	住み慣れた地域での在宅生活の継続につながっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	業務の一部を民間事業者へ委託している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	計画作成により介護予防を行い、在宅生活継続に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度中に全ての日常生活圏域に地域包括支援センターの整備を完了する。今後も地域包括支援センターの機能充実について検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢化が進む中で、地域包括支援センターの重要性は益々高まることから、地域包括支援センターの適切な運営方法等について検討を重ねた上で事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

313 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0105
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00396

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 寝具丸洗いサービス事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	022	寝具丸洗いサービス事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 65歳以上の高齢者で、認知症等により常時寝たきりとなった者の敷布団及び掛け布団を年に一回、丸洗い乾燥することにより、要介護高齢者の衛生状態を良好に保つ。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅生活を送る寝たきりや認知症のある高齢者が増加している。 (見直しや改善等の経過) 平成24年度に利用者負担を布団1枚につき、200円から400円（羽毛布団は600円）に改訂した。 令和2年度より、市社会福祉協議会との委託契約から、一般競争入札による委託業者の選定方法に変更した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の常時寝たきり又は認知症の高齢者
目的(何のために)	在宅生活上の衛生状態を良好に保つため
手段(どのようなやり方で)	業者に委託し、使用している敷布団、掛け布団を丸洗い乾燥する。
成果(どのような状態にするのか)	在宅生活を衛生的に良好なものに保ち、精神的にも快適な生活を維持する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,007	2,587	2,258	2,321	2,370	2,404	2,438
事業費	1,247	1,497	1,558	1,621	1,670	1,704	1,738
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,247	1,497	1,558	1,621	1,670	1,704	1,738
人件費計	1,760	1,090	700	700	700	700	700
事務・技術(人)	0.22	0.10	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

314 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0105
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00396 寝具丸洗いサービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-06-00	寝具丸洗いサービス事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)利用者数	人	250.00	260.00	270.00	270.00	280.00	280.00	280.00
		257.00	267.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)実施枚数	枚	460.00	480.00	490.00	490.00	500.00	500.00	500.00
		474.00	486.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	寝たきり高齢者の衛生面と見守りに効果的である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	昨年より利用者数は増加している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	市内全域で実施するため、安価でサービス提供できる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の衛生環境と地域での見守り活動に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業は、寝たきり等高齢者の衛生環境の向上に効果的であることから、今後も事業を継続する。申請方法については、見直しを検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も高齢者人口は増加することから必要な事業である。申請方法について検討する。		

事務事業評価シート（1/2）

316 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0106
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 00409

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 紙おむつ給付事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実	
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築	
事務事業	015	紙おむつ給付事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

根拠法令等	介護保険法 大津市地域支援事業等実施要綱		
事業概要	(事業概要) 寝たきりや認知症により、24時間紙おむつが必要な高齢者を在宅で介護している家族に対し、介護負担および経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ券（1ヶ月4,500円分）を支給する。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅生活を送る寝たきりや認知症のため、24時間紙おむつを必要とする高齢者が増加している。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度から1ヶ月あたり5,400円から4,500円分の給付とし、所得制限を介護保険料所得段階の第8段階から第5段階（本人市民税非課税）へ、それぞれ見直した。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要介護1～5で、寝たきりや認知症により24時間紙おむつを必要としている在宅で介護を受けている65歳以上の高齢者
目的(何のために)	要介護高齢者の居宅での生活の安定を図ることや、介護者の介護負担及び経済的負担を軽減するため
手段(どのようなやり方で)	民生委員を通じて、紙おむつ券（1ヶ月4,500円分）を支給する。
成果(どのような状態にするのか)	要介護高齢者の衛生向上と、介護者の介護負担及び経済的負担を軽減する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	72,255	72,801	78,747	85,812	89,583	93,538	93,538
事業費	69,405	70,734	76,680	83,745	87,516	91,471	91,471
国庫支出金	26,721	27,233	29,522	0	0	0	0
県支出金	13,360	13,616	14,761	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	15,962	16,269	17,636	83,745	87,516	91,471	91,471
一般財源	13,362	13,616	14,761	0	0	0	0
人件費計	2,850	2,067	2,067	2,067	2,067	2,067	2,067
事務・技術(人)	0.24	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

317 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0106
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00409 紙おむつ給付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-06-00	紙おむつ給付事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(成果)紙おむつ給付者数	人	1,500.00	1,540.00	1,621.00	1,697.00	1,776.00	1,859.00	1,859.00
		1,458.00	1,542.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)紙おむつ引換取扱薬局数	箇所	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
		105.00	104.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域支援事業（任意事業）に基づくものであり妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	低所得高齢者の在宅生活支援及び家族介護者支援に有効である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	申請・交付手段に見直しが必要		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	在宅介護を支える施策の一つとして、大変重要である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国の指針において令和6年度（第9期介護保険事業計画）から任意事業の対象外となった場合においても、継続について検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	国の方針により任意事業対象外となっても、要介護高齢者の衛生向上と介護者の介護負担軽減のために必要な事業であることから、事業を継続していく。		

事務事業評価シート（1/2）

319 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0107
評価年度 令和 4年度
所属 1437
事務事業番号 02061

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
認知症施策推進事業

所属長名 西本 美和
記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	014	認知症施策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市認知症・高齢者虐待防止地域支援推進会議設置要綱					
事業概要	<p>(事業概要) 認知症の人に対して適切な対応ができるよう、認知症地域支援推進員を配置し、医療、介護、地域の連携を強める。認知症の初期支援のため、認知症初期集中支援チームを設置し支援を行う。また、家族介護者が心身ともにリフレッシュできる場の提供を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、認知症の人は今後も増加するものと推察される。 (見直しや改善等の経過) 平成26年度から認知症カフェ等の事業を委託し実施している。また、平成28年度から認知症地域支援推進員の配置に加えて、認知症初期集中支援チームを設置した。令和3年度からは、大津市認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を実施した。</p>					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	認知症の人及びその家族
目的(何のために)	認知症の人の早期発見・早期対応や家族介護者への支援
手段(どのようなやり方で)	認知症地域支援推進員を配置し、医療機関、介護事業者、地域関係者、行政の連携を図り、認知症の人及びその家族を支援する。又、認知症初期集中支援チームを設置し、支援を行う。
成果(どのような状態にするのか)	認知症になっても住み慣れた地域で、安心して生活することができる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		9,305	11,703	15,737	18,150	18,135	18,135	18,135
事業費		3,036	3,758	7,079	9,492	9,477	9,477	9,477
国庫支出金		1,169	1,447	2,725	3,654	3,649	3,649	3,649
県支出金		584	723	1,363	1,827	1,824	1,824	1,824
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		698	864	1,628	2,183	2,180	2,180	2,180
一般財源		585	724	1,363	1,828	1,824	1,824	1,824
人件費計		6,269	7,945	8,658	8,658	8,658	8,658	8,658
事務・技術(人)		0.09	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		1.79	2.11	2.34	2.34	2.34	2.34	2.34
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

320 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0107
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02061 認知症施策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-08-00	認知症施策推進事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 家族介護者支援事業開催数	回	110.00	110.00	110.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		67.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 家族介護者支援事業参加者数	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		689.00	1,554.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	認知症の人及びその家族に対して地域支援体制の構築を行っている			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	医療や介護サービス等、必要な支援に繋げている			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	認知症の人及びその家族に対して効果的な支援を行っている			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	認知症の人の在宅生活継続や家族介護者の介護負担軽減に貢献			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	認知症初期集中支援チーム及びあんしん長寿相談所双方が連携して認知症の人及びその家族に対して必要な支援を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	認知症になっても住み慣れた地域で、できる限り安心して生活することができるよう認知症施策を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

322 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0108
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 02585

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 生活支援事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	020	生活支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) NPOや民間企業、ボランティア、社会福祉法人等多様な生活支援サービス主体が参画し、定期的に情報共有、連携強化する協議体を開催する。また、高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進するため、地域の資源の把握や開発、またネットワーク構築のため生活支援コーディネーターを設置する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、介護保険サービス以外の生活支援サービスの必要性が高まっている。民間活動やボランティア活動を把握し、関係者間の情報共有や実施主体間の連携推進が必要である。(見直しや改善等の経過) 平成28年度に市レベルの第1層コーディネーターを配置し、平成29年度からは保健福祉ブロック（7か所）レベルで第2層コーディネーターを配置している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	単身や夫婦のみ高齢者世帯、認知症高齢者等、生活に困りごとがある高齢者を対象に
目的(何のために)	高齢者の生活支援体制の充実と高齢者の社会参加を図っていくために
手段(どのようなやり方で)	①協議体の設置：多様な実施主体の連携・協働の場 ②生活支援コーディネーターの配置：地域の様々な活動を把握し、ネットワークを構築したり、ニーズと取組をマッチングさせる者 ①②を組み合わせることで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の暮らしを支えるサービスの情報を、高齢者やその家族、高齢者を支援する者等が簡単に得ることが出来る。また地域にあった取組を明らかにし、その担い手を育て、新たなサービス・ネットワークを作る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	37,135	36,069	36,197	55,397	57,797	60,197	62,597
事業費	32,039	32,038	32,166	51,366	53,766	56,166	58,566
国庫支出金	12,334	12,335	12,384	19,776	20,700	21,624	22,548
県支出金	6,167	6,167	6,192	9,888	10,350	10,812	11,274
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,368	7,368	7,398	11,814	12,366	12,918	13,470
一般財源	6,170	6,168	6,192	9,888	10,350	10,812	11,274
人件費計	5,096	4,031	4,031	4,031	4,031	4,031	4,031
事務・技術(人)	0.42	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.56	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

323 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0108
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02585 生活支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-06-00	生活支援事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)第1層(市レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)第2層(包括レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)生活支援サービスの公表(専用ホームページ)	団体	310.00	330.00	400.00	420.00	440.00	460.00	460.00
		302.00	297.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ボランティア活動に精通する社会福祉協議会と事業を推進している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	協議体活動により、関係者のネットワーク化ができています		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	市と社会福祉協議会が一体となって事業を推進している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者が安心して暮らせるまちづくりに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活支援サービスを行うボランティアの発掘・育成とボランティア同士の連携を促進させるために、生活支援コーディネーターと連携し、地域の課題や住民のニーズに合わせた、地域資源の把握と充実に努めていく。また多くの高齢者が施策の効果を実感できるよう、長寿政策課、あんしん長寿相談所、社会福祉協議会が連携し、地域資源の情報発信をより一層推進していく。今後は、日常生活圏域単位の活動ができるよう推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者の生活を支えるサービスの情報収集・情報発信は重要であり、今後も高齢者の生活支援体制の整備に努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

325 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0109
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 02644

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 家族介護支援事業

所属長名 西本 美和
 記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	016	家族介護支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市認知症・高齢者虐待防止地域支援推進会議設置要綱					
事業概要	(事業概要) 要介護高齢者を在宅で介護している家族介護者を支援するため、集いや講座の開催、地域での見守り体制を整備する。また、認知症啓発ウィークやオレンジリングフォーラムの開催等、広く市民に向けた認知症啓発を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅で家族が介護している高齢者が増加している。 (見直しや改善等の経過) 介護者支援のために「男性介護者のつどい」「高齢者虐待防止研修」「3日で学ぶ介護技術教室」を開催。その他、平成30年度から行方不明高齢者の早期発見のため「GPS機器貸与事業」も実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	認知症などを理由に介護を担う家族
目的(何のために)	高齢者とその家族を地域で支える環境づくりの推進のため。
手段(どのようなやり方で)	行方不明高齢者早期発見ダイヤル事業の実施や、家族介護者向けの集いや学習の場を設ける。市民向け認知症啓発を行う。
成果(どのような状態にするのか)	認知症などを理由に介護を必要とする人が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,606	7,884	10,293	10,793	10,793	10,793	10,793
事業費	2,765	2,319	3,523	4,023	4,023	4,023	4,023
国庫支出金	1,065	893	1,357	1,549	1,549	1,549	1,549
県支出金	532	446	678	774	774	774	774
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	636	533	810	925	925	925	925
一般財源	532	447	678	775	775	775	775
人件費計	4,841	5,565	6,770	6,770	6,770	6,770	6,770
事務・技術(人)	0.02	0.32	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.51	0.99	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

326 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0109
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02644 家族介護支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-11-00	家族介護支援事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 家族介護者向け 集い・講座開催数	回	12.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
		11.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 家族介護者向け 集い・講座参加者数	人	110.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		84.00	133.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	家族介護者同士の交流や適切な介護知識・技術の向上が図れている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	介護家族が介助方法を習得できる研修は在宅介護の負担軽減に有効		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業の一部を委託し効率を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	家族介護者を支援する施策として大変重要である		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	行方不明高齢者早期発見ダイヤル事業の実施、家族介護者向けの集いや学習の場を設けること及び市民向け啓発を行うことにより、認知症の人とその家族を地域で支え、支援していくため、今後も事業を継続していく。また、広く市民に向けた認知症啓発活動を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者とその家族介護者を支えるために重要な事業であり、今後も事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

328 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0110
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 02646

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 認知症サポーター養成事業

所属長名 西本 美和
 記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	013	認知症サポーター養成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等

根拠法令等	大津市認知症・高齢者虐待防止地域支援推進会議設置要綱				
事業概要	(事業概要) 市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人及びその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、認知症サポーター養成講座を実施する。				

事業を取りまく社会

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、認知症の人は今後も増加するものと推察される。このため、地域住民が認知症に関する理解を深めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成27年度から従来のグループ申込みによる出前講座に加えて、一人からでも参加できる公開型講座を実施している。令和3年度から新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン講座を実施したり、企業向け講座の案内を行うなど企業職域型認知症サポーターの養成に努めている。				
----------------------	---	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の各種団体をはじめ、学校や事業所等、幅広い層の市民				
目的(何のために)	認知症に対する正しい知識と理解の普及・啓発				
手段(どのようなやり方で)	5人以上のグループで申し込みがあったところに出向く出前型の講座の開催及び、一人からでも参加できる公開型の講座の開催				
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人及びその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるまちになる。				

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,794	3,698	4,489	4,561	4,561	4,561	4,561
事業費	190	313	868	940	940	940	940
国庫支出金	73	121	334	362	362	362	362
県支出金	37	60	167	181	181	181	181
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	44	72	200	216	216	216	216
一般財源	36	60	167	181	181	181	181
人件費計	2,604	3,385	3,621	3,621	3,621	3,621	3,621
事務・技術(人)	0.00	0.12	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.84	0.79	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

329 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0110
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02646 認知症サポーター養成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-12-00	認知症サポーター養成事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)開催数	回	30.00	40.00	50.00	60.00	70.00	70.00	70.00
		31.00	42.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)受講者数(累計)	人	23,700.00	24,600.00	25,600.00	26,800.00	28,200.00	29,600.00	29,600.00
		23,836.00	24,750.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域社会全体で認知症の人及びその家族を支えるために必要		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	地域住民の認知症理解が深まり地域で認知症の人を支える礎となる		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	講師役であるキャラバン・メイトを活用している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	認知症サポーターを養成し地域の認知症への理解に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も認知症に関する理解を深め、地域全体で認知症の人及びその家族を支えるまちの実現のため、認知症サポーター養成講座について、大人だけでなく、小中学生にも広げるとともに、企業等の団体に対しても実施していく。認知症サポーター養成講座を幅広い層に受講してもらえるよう周知していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	若年層や現役世代等、幅広い層に認知症に対する理解が広がるように工夫し、認知症サポーターの養成に努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

331 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0111
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 03358

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 一般介護予防事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	005	一般介護予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱				
事業概要	(事業概要) 住民が主体的に運営する通いの場を充実させ、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進とリハビリテーション専門職等を生かした自立支援に資する取り組みを推進するため、介護予防の正しい理解の普及啓発や地域における住民主体の介護予防活動の育成支援、また、住民主体の通いの場へのリハビリテーション専門職等の派遣を推進する事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人生100年時代を踏まえ、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者の支え手側となり、自らの役割や生きがいを持ちつつ住み慣れた地域で最期まで暮らすことのできる地域づくりが望まれている。 (見直しや改善等の経過) 地域介護予防活動支援では平成28年度に週1回以上活動する団体への補助を追加した。また平成30年度から介護予防サポーター養成講座・応援講座を開始。令和4年度は大学と連携し、高齢者向け惣菜レシピの作成を実施。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の高齢者を対象に
目的(何のために)	要介護状態の発生をできる限り遅らせること及び要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐことができるよう
手段(どのようなやり方で)	介護予防活動団体への支援や民間スポーツクラブの活用による介護予防教室(介護予防フィットネス事業)の開催、介護予防サポーターの養成、リハビリ専門職の派遣等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	介護予防に関する正しい理解を進め、介護予防に取り組む市民が増える。

【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,502	19,108	20,956	22,434	20,954	20,954	20,954
事業費	12,414	14,267	16,271	17,749	16,269	16,269	16,269
国庫支出金	3,103	3,747	4,068	4,437	4,067	4,067	4,067
県支出金	1,551	1,783	2,034	2,219	2,034	2,034	2,034
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,207	7,134	8,136	8,875	8,135	8,135	8,135
一般財源	1,553	1,603	2,033	2,218	2,033	2,033	2,033
人件費計	5,088	4,841	4,685	4,685	4,685	4,685	4,685
事務・技術(人)	0.45	0.41	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.48	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

332 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0111
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 03358 一般介護予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-02-15-64-00-01-00	一般介護予防事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)介護予防活動団体助成額	千円	3,420.00	4,200.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00
		2,593.00	3,580.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)介護予防活動支援団体数	団体	40.00	50.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		42.00	49.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)介護予防フィットネス参加人数	人	500.00	600.00	650.00	700.00	750.00	800.00	800.00
		569.00	558.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者の自立支援・重度化防止につながっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	介護予防活動支援団体数は増加、フィットネス事業参加者は減少		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	介護予防活動支援事業の手法に改善の余地がある		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の介護予防活動の継続支援に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	元気な高齢者の介護予防活動の充実のため、介護予防フィットネス事業や介護予防活動団体への支援事業を実施している。既存事業の利便性向上を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者自ら介護予防に取り組むことが重要であることから、さらなる介護予防の啓発と介護予防活動への参加者の増加に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0112
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 03399

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 災害時要支援者対策事業

所属長名 西本 美和
 記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします		
施策	021	災害に強いまちづくりの推進		
取組の方向性	002	地域防災力の向上		
事務事業	003	災害時要支援者対策事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	

根拠法令等	災害対策基本法			
事業概要	(事業概要) 災害発災時に高齢者等避難行動要支援者に対する避難支援の方策を確保するため、地域に対する避難行動要支援者対策の促進を行う。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 各地で災害が発生していることにより、災害対策基本法が改正され、平成25年6月の改正では、避難行動要支援者の名簿作成が義務付けられ、令和3年5月の改正では個別避難計画の作成が市町村に努力義務化された。 (見直しや改善等の経過) 令和4年度に総務部危機・防災対策課内に設置された個別避難計画作成推進室の全体マネジメントのもと、連携しながら個別避難計画作成を進めている。 令和5年度には、地域において名簿をより効果的に活用いただけるよう、ハザードエリアに居住する要支援者を抽出し名簿に表示できるよう避難行動要支援者システムの改修を行う。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	在宅の高齢者等避難行動要支援者の
目的(何のために)	発災時における生命及び身体の安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	避難支援等関係者へ啓発や情報発信、要支援者情報の提供等を通じ
成果(どのような状態にするのか)	災害が発生した際の安心・安全を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,055	3,490	4,577	5,543	6,522	3,773	4,565
事業費	1,064	986	2,402	2,588	3,957	1,598	1,610
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,064	986	2,402	2,588	3,957	1,598	1,610
人件費計	3,991	2,504	2,175	2,955	2,565	2,175	2,955
事務・技術(人)	0.34	0.17	0.10	0.20	0.15	0.10	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.41	0.38	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

335 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0112
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 03399 災害時要支援者対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-45-00	災害時要支援者対策事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 避難行動要支援者名簿（平常時用）交付数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		17.00	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 地区防災計画への要支援者対策の掲載計画数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		20.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度は、地域においてより効果的に活用いただけるよう、ハザードエリアに居住する要支援者を抽出し、名簿に表示できるようシステム改修を行う。併せて、名簿掲載の同意確認を行った避難行動要支援者名簿の提供ができていない学区へ周知を図り、全区区への提供が進むよう努める。 また、主管部局及び地域・福祉専門職等と連携しながら計画的に個別避難計画の作成を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	避難行動要支援者名簿の提供団体の拡大を図るとともに、主管部局及び地域、福祉専門職等と連携しながら計画的に個別避難計画の作成を進めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

337 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0113
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 04158

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実	
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築	
事務事業	057	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法		

事業概要	<p>（事業概要） 高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせるよう、医療、介護、健診等のデータ分析による地域の健康課題の把握を行い、高齢者への個別的支援（ハイリスクアプローチ）及び通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）を行う。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>（事業を取りまく社会環境） 高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するといったいわゆるフレイル状態になりやすい傾向がある。このため、高齢者の心身の多様な課題に応じてきめ細かな生活習慣病予防等の疾病予防と生活機能維持のための介護予防を一体的に実施していく必要がある。</p> <p>（見直しや改善等の経過） 法改正により、令和2年4月から市町村が中心となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するための体制の整備が進められることとなった。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	主に75歳以上の後期高齢者を対象に
目的(何のために)	生活習慣病予防等の疾病予防と生活機能維持のために
手段(どのようなやり方で)	医療、介護、健診等のデータ分析により、専門職による高齢者への個別的支援及び通いの場等への積極的な関与を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が地域で健康的な生活を送れるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,398	20,603	32,203	36,705	39,977	43,249	46,521
事業費	1,238	11,000	21,670	26,172	29,444	32,716	35,988
国庫支出金	0	1,054	3,628	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,207	9,946	18,042	26,172	29,444	32,716	35,988
一般財源	31	0	0	0	0	0	0
人件費計	7,160	9,603	10,533	10,533	10,533	10,533	10,533
事務・技術(人)	0.74	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	1.11	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

338 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0113
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 04158 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-55-00	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 健康いきいき講座開催数	回数	120.00	110.00	120.00	125.00	130.00	140.00	140.00
		27.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 健康いきいき講座受講者数	人	1,600.00	1,700.00	1,800.00	1,900.00	2,000.00	2,100.00	2,100.00
		392.00	436.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者の生活習慣病対策やフレイル対策に効果的である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	口腔機能低下予防では個別的支援により維持改善につながった		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	保健事業と介護予防を一体的に実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の健康増進に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	本事業は、これまで別々に展開されていた生活習慣病対策やフレイル対策、介護予防を一体的に実施することで、高齢者の心身の状態を把握し、介護予防や生活習慣病等の重症化予防に効果的であることから、今後も事業を拡大して継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	フレイル対策や介護予防を一体的に実施していくことは健康寿命の延伸に効果的であり、今後も事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

340 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0114
 評価年度 令和 4年度
 所属 1437
 事務事業番号 04220

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 フレイル予防事業

所属長名 西本 美和
 記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	023	フレイル予防事業				
新規継続区分	新規					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等						
事業概要	介護予防の啓発を早い時期に行うため、65歳の方に「フレイル（虚弱）予防」「健康な生活を送る意識づけ」を目的として、介護予防パンフレットと併せて市で実施している一般介護予防事業の周知を行う。また、無料体験クーポンの配布を行い、「フィットネスジム等の運動体験」、「歯科口腔チェック」、「栄養講座とバランスのとれた食事の試食」、「はり・きゅう・あん摩マッサージ」の4項目のメニューの中から1つを選択して体験してもらい、日常生活上の運動習慣や口腔機能、食生活に留意すること、意識的に自身の心身状態を振り返るきっかけづくりとする。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	コロナ禍の中では、外出や人との交流の機会の減少から筋力低下、食欲の低下など心身への影響（コロナフレイル）が出ていたことから、本事業をスタートしたが、感染症法上の分類見直しがなされ、外出や交流の機会が戻りつつある。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳になる高齢者を対象に
目的(何のために)	介護予防の啓発を行い、フレイル（虚弱）予防、健康な生活を送る意識づけのために
手段(どのようなやり方で)	フレイル予防啓発パンフレットと無料体験クーポンを発送し、対象者がメニューの1つを選択して体験してもらうことで
成果(どのような状態にするのか)	フレイル（虚弱）予防、健康な生活を送る意識づけができ、フレイル予防、介護予防につながる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	5,602	11,420	12,300	12,300	12,300	12,439
事業費	0	2,717	8,379	9,259	9,259	9,259	9,398
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2,715	8,379	0	0	0	0
一般財源	0	2	0	9,259	9,259	9,259	9,398
人件費計	0	2,885	3,041	3,041	3,041	3,041	3,041
事務・技術(人)	0.00	0.35	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（1/2）

343 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0115
 評価年度 令和 4年度
 所属 1489
 事務事業番号 00321

進捗区分 所属評価
 健康保険部長寿施設課
 老人デイサービス運営事業

所属長名 白川 武史
 記入者 中村 泰彰

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	003	老人デイサービス運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法、老人デイサービスセンター条例					
事業概要	(事業概要) デイサービスセンターにおいて、在宅の要支援・要介護認定者に対して、通所により各種サービスを提供し心身機能の維持向上を図るとともに、介護者の負担軽減を図る。 指定管理者運営施設：木戸デイサービスセンター また、シルバーハウジング（公営住宅）の生活援助員派遣等を委託し、高齢者の生活を支援する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護保険制度開始以降、民間事業所が多く参入、増加したことにより、公が実施するデイサービス事業の役割は低下してきたが、地域性等により、民間のみで賄えないニーズの受け入れが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成18年度より指定管理による事業運営を開始し、平成30年度には4つのデイサービス事業所のうち3つを大津市社会福祉事業団に事業移管した。令和3年度末には、事業移管したデイサービスセンターのうち、三大寺デイサービスセンターの事業が廃止された。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要支援・要介護認定者に
目的(何のために)	在宅の要支援者・要介護者の心身機能の維持向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	通所介護サービス及び生活援助員による支援を提供し
成果(どのような状態にするのか)	在宅での生活を確保するとともに、家族の身体的および精神的負担の軽減を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	34,668	40,839	36,062	38,966	36,467	77,921	34,866
事業費	32,268	38,499	35,048	37,952	35,453	76,907	33,852
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,143	4,244	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590
一般財源	29,125	34,255	30,458	33,362	30,863	72,317	29,262
人件費計	2,400	2,340	1,014	1,014	1,014	1,014	1,014
事務・技術(人)	0.30	0.30	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0115
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1489 健康保険部長寿施設課
 事務事業番号 00321 老人デイサービス運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-73-00-01-00	老人デイサービス運営委託事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)延営業日	日数	255.00	254.00	254.00	256.00	255.00	254.00	255.00
		254.00	247.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	7,500.00	7,600.00	7,108.00	7,347.00	7,586.00	7,556.00	7,556.00
		6,567.00	6,246.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	民間事業所数が少ない地域でのみ指定管理者で実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	新型コロナウイルスの影響に伴う事業休止などにより利用者が減少		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	指定管理者によるノウハウを活用している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	通所介護のニーズの受け皿としての機能を有している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市が実施するデイサービス事業については、廃止していく方向性であるが、民間事業所数が少ない志賀地域においては、在宅支援のため事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の状況や関連する施設の動向等を見極めながら、事業を進めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

346 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0116
 評価年度 令和 4年度
 所属 1489
 事務事業番号 00324

進捗区分 所属評価
 健康保険部長寿施設課
 高齢者健康生きがい施設管理事業

所属長名 白川 武史
 記入者 中村 泰彰

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	009	高齢者健康生きがい施設管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市立老人憩の家条例					
事業概要	(事業概要) 市内5か所に設置した老人憩の家を、老人クラブ活動、教養向上のための活動、レクリエーション活動等の場として提供し、高齢者の心身の健康増進と生きがい充実を図る。また、高齢者が身近な場所で気軽に軽スポーツができる健康広場を維持管理し、高齢者の健康増進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 利用・運営の中心である老人クラブの会員数の減少により、憩の家の運営委託が難しくなっている。老人健康広場の利用状況も同様である。 (見直しや改善等の経過) 憩の家の運営にかかる老人クラブへの支援と、施設の機能維持・経年劣化による小規模修繕を実施。地元老人クラブが解散して利用が減っていた膳所老人憩の家については、平成31年3月末で廃止した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に居住する60歳以上の方
目的(何のために)	高齢者の福祉の増進のために
手段(どのようなやり方で)	地域での老人クラブ活動、教養向上のための活動、レクリエーション活動のための場として老人憩の家を提供し、また軽スポーツのできる健康広場の維持管理を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の心身の健康増進と生きがい充実を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,085	17,966	16,398	20,632	26,230	17,937	17,941
事業費	12,205	14,534	14,058	18,292	23,890	15,597	15,601
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	262	251	265	265	265	265	265
一般財源	11,943	14,283	13,793	18,027	23,625	15,332	15,336
人件費計	4,880	3,432	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
事務・技術(人)	0.61	0.44	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

347 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0116
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1489 健康保険部長寿施設課
 事務事業番号 00324 高齢者健康生きがい施設管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-87-00-01-00	高齢者健康生きがい施設管理費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 老人憩の家開館日数	日	294.00	293.00	293.00	294.00	292.00	291.00	293.00
		272.00	298.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 老人健康広場（長寿施設課管理）設置数	箇所	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
		17.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 老人憩の家利用者数	人	14,500.00	14,500.00	12,000.00	12,500.00	13,000.00	13,500.00	14,000.00
		10,101.00	11,060.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 老人憩の家入浴事業利用者数	人	9,500.00	9,500.00	7,200.00	7,400.00	7,600.00	7,800.00	8,000.00
		6,444.00	7,189.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域の高齢者による自主的な運営になっている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	運営は地域に委ねており効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域高齢者の健康増進と生きがいづくりの場となっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	憩の家や老人健康広場については、地域により利用頻度・活用方法に違いがあることから、地域性、設備状況等に合わせた運営が必要である。今後も地域の実状に見合った運営ができるよう地元の運営委員会等と連携して取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の高齢者が健康増進や憩いの場として利用できるよう、引き続き、地域性等に合わせた運営に努め、地元の運営委員会等と連携して事業を進めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0117
 評価年度 令和 4年度
 所属 1489
 事務事業番号 02098

進捗区分 所属評価
 健康保険部長寿施設課
 地域密着型サービス施設整備補助事業

所属長名 白川 武史
 記入者 中村 泰彰

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	010	地域密着型サービス施設整備補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市介護施設等整備費補助金交付要綱				
事業概要	(事業概要) 第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（おおつゴールドプラン2021）の整備目標数値に基づき、地域密着型サービスの提供施設を確保するため、事業者公募を行い、大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会にて選考の結果、補助事業として採択された事業計画の施設整備に対する補助を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 引き続き要支援・要介護認定者数の増加が見込まれる中で、介護サービス事業所や介護保険施設の計画的な整備が必要である。 (見直しや改善等の経過) 要支援・要介護認定者の増加に対応するため、地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型通所介護等に対して、国・県の交付金を活用して整備促進を図ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域密着型サービスを整備する法人に
目的(何のために)	第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、要支援・要介護認定者の増加に対応するために
手段(どのようなやり方で)	国・県の交付金等を活用し、その施設の建築工事費、開設準備経費に対する事業費を補助することで
成果(どのような状態にするのか)	地域密着型サービス事業所の施設整備を推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	248,524	98,384	2,574	756,478	163,096	110,045	48,954
事業費	246,844	95,966	0	753,904	160,522	107,471	46,380
国庫支出金	13,560	47,178	0	38,650	46,380	46,380	46,380
県支出金	229,871	48,702	0	715,254	114,142	61,091	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	498	86	0	0	0	0	0
一般財源	2,915	0	0	0	0	0	0
人件費計	1,680	2,418	2,574	2,574	2,574	2,574	2,574
事務・技術(人)	0.21	0.31	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

350 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0117
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1489 健康保険部長寿施設課
 事務事業番号 02098 地域密着型サービス施設整備補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-17-00	地域密着型サービス施設整備補助事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 地域密着型サービス事業所の整備済事業所数	施設	91.00	91.00	94.00	94.00	94.00	94.00	94.00
(成果) 地域密着型サービス事業所の総定員	人	1,722.00	1,741.00	1,777.00	1,777.00	1,777.00	1,777.00	1,777.00
		79.00	81.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,495.00	1,527.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	施設整備を促進するため、補助金の交付は手段として有効である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	一部未整備の介護サービスもあるが、整備は着実に進んでいる。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	施設整備促進のため、手法として効率的である。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	高齢者の福祉・介護の充実に貢献している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度も事業者を公募の上、「大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会」において選考し、採択された事業主体に対して整備に必要な財政支援を行う。また、令和5年度の整備、応募等の状況を鑑み、第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画における整備目標などについても検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、事業者に対して地域密着型サービスの整備支援を行うとともに、住み慣れた地域で介護保険サービスが利用できるよう、事業を進めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

352 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0118
 評価年度 令和 4年度
 所属 1426
 事務事業番号 00362

進捗区分 評価完了
 健康保険部介護保険課
 賦課徴収事業

所属長名 古川 久文
 記入者 池西 好史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	042	賦課徴収事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法、大津市介護保険条例					
事業概要	(事業概要) 介護保険事業に要する経費に充てるため、介護保険第1号被保険者から保険料を徴収し、未納者には督促・催告を行い、資格喪失等に伴う過誤納金の処理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者人口の増加に伴う介護給付費の伸びにより、介護保険料も制度開始時と比べて増額している。 (見直しや改善等の経過) 国及び県からの低所得者保険料軽減負担金の交付を受け、令和元年10月から非課税世帯の保険料を軽減している。また高額かつ困難な滞納案件については収納課へ債権移管手続きを行い、効率的な対応となるよう徴収体制の連携を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険第1号被保険者に対し、
目的(何のために)	介護保険事業に要する費用の一部に充てるために、
手段(どのようなやり方で)	政令で定める基準に従い条例で定めるところにより、保険料を賦課し、徴収することで、
成果(どのような状態にするのか)	保険料が公平かつ適正に確保されている。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	66,541	61,632	69,472	66,948	67,230	67,554	67,884
事業費	33,533	29,180	34,920	32,396	32,678	33,002	33,332
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	33,533	29,180	34,920	32,396	32,678	33,002	33,332
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	33,008	32,452	34,552	34,552	34,552	34,552	34,552
事務・技術(人)	3.08	3.08	4.08	4.08	4.08	4.08	4.08
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

353 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0118
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00362 賦課徴収事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-10-05-12-00-01-00	賦課徴収事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 現年度分調定額	千円	6,695,657.00	6,861,667.00	7,050,794.00	7,191,810.00	7,335,646.00	7,482,359.00	7,632,006.00
		6,959,336.00	7,025,840.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 現年度分収納率	%	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30
		99.43	99.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価	
評価項目							
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A	A	
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
評価理由		法の規定により市が実施主体となることは妥当である。					
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A	A	
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
評価理由		条例に基づいた適切な賦課により保険料を確保している。					
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A	A	
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
評価理由		きめ細やかな未収対策により前年度より収納率が上昇した。					
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A	A	
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
評価理由		介護保険事業の安定運営のためには不可欠である。					
評価理由							

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	保険料の確実な収納を図るため、引き続き文書等による督促、催告や当初決定通知の不達調査、滞納者の個別事情に応じた分納相談と分納者の履行確認といったきめ細やかな未収対策を講じる。また、低所得者向けの保険料軽減対策についても継続的に実施していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	被保険者の個別事情に配慮した納付相談等、きめ細かく丁寧に対応し、確実な納付につなげ、現状の高い収納率を維持していく。		

事務事業評価シート（1/2）

355 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0119
 評価年度 令和 4年度
 所属 1426
 事務事業番号 00363

進捗区分 評価完了
 健康保険部介護保険課
 認定審査会運営事業

所属長名 古川 久文
 記入者 佐々江 洋介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	043	認定審査会運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) 介護保険法第27条及び第32条の規定に基づき、要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者に対し、認定調査票と主治医意見書をもとに、本市が設置している大津市介護認定審査会へ審査判定を依頼し、その審査結果により、要介護（要支援）認定を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 要介護（要支援）認定については、今後、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加により、効率的な事業運営手法の検討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施して認定審査の平準化を図り、効率的かつ適正、的確な認定審査事務の執行に努めた。また、WEB会議システムを導入し、効率的な介護認定審査会の運営に努めた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険の被保険者のうち、要介護（要支援）認定の申請をした者を対象に、
目的(何のために)	介護保険法に定める要介護（要支援）状態区分等を、介護認定審査会の審査判定に基づき認定するため、
手段(どのようなやり方で)	介護保険法に定める認定調査票と主治医意見書に基づき、介護認定審査会へ審査判定を依頼しその結果を基に、
成果(どのような状態にするのか)	適正かつ迅速な要介護（要支援）認定を行う。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	66,057	64,246	72,556	74,375	78,844	80,916	79,768
事業費	42,685	41,200	49,510	51,329	55,798	57,870	56,722
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	42,685	41,200	49,510	51,329	55,798	57,870	56,722
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	23,372	23,046	23,046	23,046	23,046	23,046	23,046
事務・技術(人)	2.41	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

356 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0119
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00363 認定審査会運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-15-05-14-00-01-00	認定審査会運営事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 認定審査件数	件	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00
		13,767.00	14,156.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 認定審査会開催回数	回	510.00	510.00	510.00	510.00	560.00	560.00	560.00
		527.00	533.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 平均申請処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		75.00	73.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 不服申立件数	件	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の規定により市が実施主体となることは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	専門的知見を有する委員により認定審査を行っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	WEB会議システムの導入により効率的に進めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	介護認定を適正かつ効果的に実施し、介護ニーズに応えている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施し、認定審査会委員等の資質向上や認定審査の適正化・水準維持を図る。また、審査会運営の効率化を図るため、導入済みのWEB会議形式による審査会について、更なる利用拡大を図るとともに、新たなデジタル技術導入について情報収集を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施し、適正な認定審査に努めるとともに、審査会運営の効率化に関する新たなデジタル技術導入について情報収集を行う。		

事務事業評価シート（1/2）

358 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0120
 評価年度 令和 4年度
 所属 1426
 事務事業番号 00364

進捗区分 評価完了
 健康保険部介護保険課
 認定調査事業

所属長名 古川 久文
 記入者 佐々江 洋介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	044	認定調査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) 介護保険法に規定する要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者の認定調査について、大津市または大津市が委託する居宅介護支援事業者等により行うとともに、主治医意見書の作成を依頼して回収し、それらの内容を点検して適正な審査判定資料を作成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 要介護（要支援）認定については、今後、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加により、効率的な事業運営手法の検討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施して認定調査員の資質向上を図るとともに、認定事務の適正かつ効率的な執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市介護認定調査員、居宅介護支援事業者等及び主治医に対して、
目的(何のために)	介護認定審査会において、要介護（要支援）認定申請者の心身状態を正確かつ適正に判定していただくため、
手段(どのようなやり方で)	大津市介護認定調査員が認定調査を実施または居宅介護支援事業者等に認定調査を委託し、併せて主治医意見書の作成を依頼して回収し、それら資料を介護認定審査会上程前に点検して必要な補正をすることにより、
成果(どのような状態にするのか)	適正な審査判定資料を作成し、かつ迅速な要介護（要支援）認定を行う。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	203,648	216,340	222,864	224,002	241,382	241,386	241,382
事業費	109,596	117,282	123,806	124,944	142,324	142,328	142,324
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	109,596	117,282	123,806	124,944	142,324	142,328	142,324
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	94,052	99,058	99,058	99,058	99,058	99,058	99,058
事務・技術(人)	2.41	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	24.12	25.84	25.84	25.84	25.84	25.84	25.84
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

359 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0120
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00364 認定調査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-15-05-15-00-01-00	認定調査事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 調査件数 (委託)	件	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00
		7,424.00	7,937.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) " (職員)	件	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00
		6,378.00	6,314.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 平均調査処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	90.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 不服申立件数	件	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の規定により市が実施主体となることは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	調査員の資質向上により有効な調査が実施できている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	委託等により効率的に行っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	認定調査を適正かつ効率的に実施し、介護ニーズに応えている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	研修等の実施により認定調査員の資質を向上させ、適正な訪問調査に努める。また、今後、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加が見込まれるため、デジタル技術を活用した業務の効率化を図るべく情報収集を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	研修等により認定調査員の資質の向上を図るとともにデジタル技術を活用した業務の効率化を図るべく情報収集を行う。		

事務事業評価シート（1/2）

361 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0121
 評価年度 令和 4年度
 所属 1426
 事務事業番号 00393

進捗区分 評価完了
 健康保険部介護保険課
 介護給付等費用適正化事業

所属長名 古川 久文
 記入者 星田 真文

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	006	安定した社会保障制度の運営		
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援		
事務事業	045	介護給付等費用適正化事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	介護保険法			
事業概要	(事業概要) 介護保険サービスの利用者に、1年間に支給した介護給付費の実績を通知することにより、介護保険サービスにかかる給付額を認識していただくとともに、ケアプランチェックや住宅改修・福祉用具の実態調査等の5事業を実施することにより介護保険サービスの適正な利用を促進し、介護保険給付の適正化を図る。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護保険制度発足以来、要介護（支援）認定者数及び介護給付費は増加の一途をたどり、介護サービスを真に必要なとする受給者に過不足なく提供するために、介護給付適正化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 介護給付等費用適正化事業のうち住宅改修現地調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止したが、令和3年度及び令和4年度は感染状況を注視したうえで再開した。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険サービスの利用者並びに事業者に対して、
目的(何のために)	利用者に介護保険サービスにかかる給付額を認識してもらうとともに、介護保険サービスの適正な利用を促進するため、
手段(どのようなやり方で)	介護給付費通知の送付、ケアプランチェック及び住宅改修・福祉用具の実態調査等の5事業を実施することで、
成果(どのような状態にするのか)	過不足のない介護サービスを提供する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,017	6,112	6,170	3,580	3,580	3,580	3,580
事業費	2,377	2,532	2,590	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,377	2,532	2,590	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	3,640	3,580	3,580	3,580	3,580	3,580	3,580
事務・技術(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

362 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0121
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00393 介護給付等費用適正化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-01-00	介護給付等費用適正化事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)介護給付費通知 発送件数（利用者実人数）	件	15,200.00	15,200.00	15,200.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14,232.00	14,665.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)住宅改修の実態 調査の件数	件	15.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		15.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)問合せ件数（利用者より）	件	35.00	35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		67.00	33.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ケアプラン点検 の実施件数	件	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	保険者として市が給付適正化事業を実施する必要がある		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	適切な介護サービスの提供ができています		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	介護サービスの利用者に給付適正化の主旨が周知できた		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	介護サービスの適正利用につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	「第5期大津市介護給付適正化計画（令和3年度～令和5年度）」に基づき、主要5事業（要介護認定の適正化、ケアプラン点検、住宅改修等の点検、縦覧点検・医療情報との突合、介護給付費通知）の取組を引き続き推進する。なお、「第6期大津市介護給付適正化計画（令和6年度～令和8年度）」を策定するにあたり、現在、国で協議されている介護給付適正化の基本指針の動向を注視する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	「大津市介護給付適正化計画」に掲げた事業に取組み、引き続き保険給付の適正化に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

364 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0122
 評価年度 令和 4年度
 所属 1403
 事務事業番号 00439

進捗区分 所属評価
 健康保険部保険年金課
 心身障害者等医療費助成事業

所属長名 中江 英樹
 記入者 村田 洋亮

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	018	心身障害者等医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市医療費助成条例・大津市重度心身障害老人等福祉助成費支給要綱					
事業概要	(事業概要) 心身障害者に対して、医療費の自己負担分の一部を助成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害者の増加により、障害のある人が必要とする支援や社会参加へのニーズが多様化している。 (見直しや改善等の経過) 平成16年8月から助成対象者、配偶者及び扶養義務者に対して所得制限を設けた。平成17年8月からは滋賀県補助金制度改正により、市民税課税世帯に対して自己負担を導入。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	身体障害者、知的障害者、精神障害者
目的(何のために)	医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分をその者に代わり医療機関等に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	障害者の経済的な不安が軽減され、安心して適切な医療が受けられる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	744,189	755,266	770,319	770,319	770,319	770,319	770,319
事業費	734,183	745,490	760,387	760,387	760,387	760,387	760,387
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	243,956	261,995	273,611	273,611	273,611	273,611	273,611
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	155,931	145,781	134,641	134,641	134,641	134,641	134,641
一般財源	334,296	337,714	352,135	352,135	352,135	352,135	352,135
人件費計	10,006	9,776	9,932	9,932	9,932	9,932	9,932
事務・技術(人)	1.15	1.15	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

365 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0122
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00439 心身障害者等医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-18-00-01-00	障害者医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)助成対象者数	人	6,300.00	6,300.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
		6,437.00	6,510.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)助成総額	千円	752,854.00	734,684.00	746,099.00	746,099.00	746,099.00	746,099.00	746,099.00
		720,594.00	731,159.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの助成額	千円	120.00	117.00	114.78	114.78	114.78	114.78	114.78
		112.00	112.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	受給者の健康の保持増進が図られている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	経済的な不安が軽減され、適切な医療が受けられる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	現物給付にて医療費を支払う手法により、事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安心して医療が受けられるよう、経済的支援を行っている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	障害者が安心して医療を受けられるよう、現行制度を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	限られた財源の中で、継続的な運営に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0123
 評価年度 令和 4年度
 所属 1403
 事務事業番号 00533

進捗区分 所属評価
 健康保険部保険年金課
 母子家庭等医療費助成事業

所属長名 中江 英樹
 記入者 村田 洋亮

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	013	母子家庭等医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市医療費助成条例・大津市重度心身障害老人等福祉助成費支給要綱					
事業概要	(事業概要) 母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦に対して、医療費の自己負担分の一部を助成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 就労収入の低迷、子育て等による日常生活の負担増などにより貧困状態にある母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦世帯の経済的支援が必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 平成16年8月から対象者本人、扶養義務者に対して所得制限を設けた。平成17年8月からは滋賀県福祉医療費助成事業補助金制度改正により、市民税課税世帯の対象者に対して、自己負担を導入。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦
目的(何のために)	医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分をその者に代わり医療機関等に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦の経済的な不安が軽減され、安心して適切な医療が受けられる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	234,762	234,324	233,570	234,324	234,324	234,324	234,324
事業費	223,976	223,772	223,018	223,772	223,772	223,772	223,772
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	98,667	101,203	104,416	101,203	101,203	101,203	101,203
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	17,779	13,630	12,945	13,630	13,630	13,630	13,630
一般財源	107,530	108,939	105,657	108,939	108,939	108,939	108,939
人件費計	10,786	10,552	10,552	10,552	10,552	10,552	10,552
事務・技術(人)	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（1/2）

370 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0124
 評価年度 令和 4年度
 所属 1403
 事務事業番号 00539

進捗区分 所属評価
 健康保険部保険年金課
 国民健康保険料滞納整理事業

所属長名 中江 英樹
 記入者 高谷 俊司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	003	国民健康保険料滞納整理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	国民健康保険法、国税徴収法等					
事業概要	(事業概要) 国民健康保険料の納付督促及び滞納処分等を行い、収納率向上を目指す。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国民健康保険は、国民皆保険を実現するための中核としての役割を担っているが、加入者の年齢構成が高く、医療費水準が高い状況である。 (見直しや改善等の経過) 時代に即した多様な収納方法の確保のため、PayPay請求書払いなどのスマートフォン決済を拡充したほか、保険年金課窓口で口座振替の受付ができるページを導入した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	国民健康保険料滞納被保険者
目的(何のために)	国民健康保険料の収納率向上
手段(どのようなやり方で)	納付相談、督促状、催告書、差押え予告通知の発送、短期被保険者証・被保険者資格証明証の交付、財産差押え処分等
成果(どのような状態にするのか)	滞納被保険者の減少と収納率の向上により、国保財政の安定的な運営が図れる

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	53,417	60,137	59,709	59,709	59,834	59,825	60,152
事業費	5,530	8,345	8,151	8,151	8,276	8,267	8,594
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5,439	8,099	6,627	6,651	6,051	6,182	6,326
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	91	246	1,524	1,500	2,225	2,085	2,268
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	47,887	51,792	51,558	51,558	51,558	51,558	51,558
事務・技術(人)	2.82	3.23	3.51	3.51	3.51	3.51	3.51
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	8.17	8.58	7.80	7.80	7.80	7.80	7.80
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

371 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0124
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00539 国民健康保険料滞納整理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-05-10-10-39-00-01-00	国民健康保険料滞納整理事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)滞納者納付額（ 処分＋債権移管）	千円	16,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00
		36,042.00	29,269.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)滞納処分等件数	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		92.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)現年度収納率	%	94.55	94.70	94.85	95.00	95.00	95.00	95.00
		95.76	95.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)滞繰分収納率	%	21.73	22.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		21.69	21.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高い収納率を確保している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	現年度保険料の収納率が成果目標以上であった		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	適正な事務執行により、定量評価の目標値以上の成果を上げている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	収納率の確保により、国保財政の安定運営に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き個々の事情を把握し、きめ細やかで柔軟な納付相談を行うとともに、スマートフォン決済の拡充やキャッシュカードで口座振替の受付ができるページー端末を支所窓口を設置するなど、納付方法を増やすことで収納率向上に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	個々の事情に即した丁寧な納付相談を行い、収納率の確保に努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

373 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0125
 評価年度 令和 4年度
 所属 1403
 事務事業番号 00573

進捗区分 所属評価
 健康保険部保険年金課
 葛川診療所管理運営事業

所属長名 中江 英樹
 記入者 田中 賢司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
施策	007	健康増進と地域医療の充実		
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進		
事務事業	022	葛川診療所管理運営事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	国民健康保険法、診療所設置及び管理条例			
事業概要	(事業概要) 医療の公平受益という見地から、山間部である葛川地域に直営診療所を設置し、地域住民の健康増進と医療の確保に努めている。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 診療所が設置されている葛川学区は高齢化及び人口の減少が進んでいる。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度から大津赤十字志賀病院との協定に基づき、医師2名を確保し、診療体制の安定化を図っている。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	葛川地域住民他
目的(何のために)	無医地区の解消のため
手段(どのようなやり方で)	国民健康保険直営診療施設を設置、運営
成果(どのような状態にするのか)	地域住民等への受診機会の提供と地域医療の確保

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,889	8,371	9,707	10,034	9,934	9,934	9,934
事業費	6,197	5,737	7,073	7,400	7,300	7,300	7,300
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,197	5,737	7,073	7,400	7,300	7,300	7,300
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	2,692	2,634	2,634	2,634	2,634	2,634	2,634
事務・技術(人)	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

374 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0125
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00573 葛川診療所管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
12-05-05-05-71-00-01-00	葛川診療所管理運営事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 1日当たりのレセプト件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.40	5.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 診療報酬収益達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		124.20	110.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	事業の採算性等から公的機関が設置することが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	2名の医師を確保し、受診機会を安定的に提供している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	診療日を限定し、効率的な運営を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	無医地区の解消に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も引き続き山間部である葛川地域において、必要な医療が確保できるよう努める。 なお、令和4年度においても、令和3年度に引き続き当診療所において新型コロナウイルスワクチン接種を実施する等地域医療に貢献した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も地域住民の健康増進のため、医療の確保に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

376 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0126
 評価年度 令和 4年度
 所属 1403
 事務事業番号 00578

進捗区分 所属評価
 健康保険部保険年金課
 後期高齢者医療管理運営事業

所属長名 中江 英樹
 記入者 上嶋 幸司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	006	安定した社会保障制度の運営		
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援		
事務事業	032	後期高齢者医療管理運営事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律			
事業概要	(事業概要) 医療制度改革の一環として施行した、75歳以上を対象とした医療制度である「後期高齢者医療制度」について、運営主体となる滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携を密にし、持続的な制度の運用を実施する。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化が進むことで被保険者数が増加し、それに伴い医療費が増大している。 (これまでの見直し) 通知書を高齢者の目線でわかりやすく、見やすいものに改善するなど制度の広報周知に努めてきた。また、コンビニ収納やスマートフォン決済の導入、年金特徴平準化など被保険者の利便性向上を図った。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	後期高齢者医療被保険者
目的(何のために)	持続的な後期高齢者医療制度の運用
手段(どのようなやり方で)	滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携を密にし、被保険者への制度の周知と高齢者の医療を受ける機会を確保する。
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が安心できる医療制度の確立

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	118,016	143,533	136,597	132,107	131,728	130,553	131,062
事業費	69,309	91,285	82,321	77,831	77,452	76,277	76,786
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	69,309	91,285	82,321	77,831	77,452	76,277	76,786
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	48,707	52,248	54,276	54,276	54,276	54,276	54,276
事務・技術(人)	4.24	4.60	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.77	5.28	5.28	5.28	5.28	5.28	5.28
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

377 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0126
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00578 後期高齢者医療管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
31-05-05-05-10-00-01-00	後期高齢者医療管理運営事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)被保険者への制度の周知	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)保険料収納率の向上	%	99.00	99.60	99.60	99.60	99.60	99.60	99.60
		99.62	99.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の規定により、市が実施主体となることは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	目標の収納率に達しなかったが、収納率の高い水準にある。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	広域連合と連携し、効率的な運営を行っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安定した社会保障制度の運営に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	収納率の維持・向上対策を図りつつ、被保険者数の増加に伴う窓口負担割合変更をはじめとした制度の丁寧な周知に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	被保険者数の増加に応じた負担割合の変更をはじめとした持続可能な制度変更や保険料納付について、丁寧な説明を引き続き行っていく。		

事務事業評価シート（1/2）

379 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0127
評価年度 令和 4年度
所属 1403
事務事業番号 01889

進捗区分 所属評価
健康保険部保険年金課
子ども医療費助成事業

所属長名 中江 英樹
記入者 村田 洋亮

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	019	子ども医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市医療費助成条例					
事業概要	(事業概要) 小学生の児童に対して、医療費の自己負担分の一部を助成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子高齢化が進展する中で、子育て支援の重要性はますます高まっており、仕事と子育てが両立できる環境整備や子育て家庭の経済的負担の軽減等を継続して実施していくことが求められる。 (見直しや改善等の経過) 平成23年1月から小学校1年～3年生に対して、子ども医療費助成制度を実施。平成27年1月から入院のみ、小学校4年～6年生に対して、医療費助成を拡大。平成29年1月から通院分も助成対象とした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小学生の児童
目的(何のために)	医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分をその者に代わり医療機関等に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健水準の向上や健やかな育成等、子どもを生み育てる環境の整備と子育て支援の充実。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	403,512	413,660	466,356	597,299	597,299	597,299	597,299
事業費	394,669	406,635	461,024	591,967	591,967	591,967	591,967
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	27,355	16,032	161,857	1,790	1,790	1,790	1,790
一般財源	367,314	390,603	299,167	590,177	590,177	590,177	590,177
人件費計	8,843	7,025	5,332	5,332	5,332	5,332	5,332
事務・技術(人)	0.90	0.12	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.78	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.53	0.53	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

380 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0127
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 01889 子ども医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-35-00-01-00	子ども医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)助成対象者数	人	17,700.00	17,700.00	26,600.00	26,600.00	26,600.00	26,600.00	26,600.00
		17,718.00	17,615.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)助成総額	千円	370,610.00	386,624.00	442,970.00	570,639.00	570,639.00	570,639.00	570,639.00
		376,120.00	390,639.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たりの助成額	千円	21.00	23.00	16.65	21.45	21.45	21.45	21.45
		21.00	22.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	子育て中の家庭が安心して医療が受けられている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	子育て中の家庭の経済的負担の軽減が図られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	現物給付にて医療費を支払う手法により、事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	子育て施策の一環として事業を実施している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	市区町村間の助成要件等の格差を解消し、すべての国民がどこに住んでいても公平に安心して子どもを産み育てられる環境を実現するために、国に対して0歳から高校卒業までを対象とする新しい医療費助成制度の創設と財政支援について要望するとともに、県に対しては小学生以上に対する新しい医療費助成制度の早期創設および現行の乳幼児医療費助成制度と同様の財政負担を求めていく。また、本市は令和5年10月より中学校1年生から3年生に対して医療費助成を新たに実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	限られた財源の中で継続的な運営に努めるとともに、国や県に対して、引き続き、新しい医療助成制度の創設と財政支援について要望していく。		

事務事業評価シート（1/2）

382 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0128
評価年度 令和 4年度
所属 1403
事務事業番号 03850

進捗区分 所属評価
健康保険部保険年金課
医療費適正化対策事業

所属長名 中江 英樹
記入者 菱田 真子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	027	医療費適正化対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	国民健康保険法等					
事業概要	<p>(事業概要) 医療費の増加が見込まれる中、国民健康保険被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図るため、必要な医療を確保した上で医療費の適正化を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 被保険者の高齢化の進展や医療の高度化により1人あたりの医療費が増加している。 (見直しや改善等の経過) 療養費の適正化のため、平成29年度から柔道整復療養費の患者照会を実施している。令和4年度からは、はり師、きゅう師及びあんま・マッサージ指圧師の施術に係る患者照会を拡大した。また、以前から実施している後発医薬品差額通知の送付について、令和5年度より送付対象範囲を拡大する。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	国民健康保険被保険者
目的(何のために)	保険事業の適正な運営及び保険財政の健全化を図る。
手段(どのようなやり方で)	柔道整復及びはり・きゅう、あんま・マッサージ施術に係る療養費支給申請書内容点検等の実施、後発医薬品差額通知の送付、医療費通知の送付、レセプト点検2次点検の実施。
成果(どのような状態にするのか)	医療費の適正化を図ることで国保事業の安定的運営を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33,571	35,178	40,749	40,749	40,749	40,749	40,749
事業費	27,811	29,562	35,133	35,133	35,133	35,133	35,133
国庫支出金	1,381	0	0	0	0	0	0
県支出金	26,430	29,562	35,133	35,133	35,133	35,133	35,133
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	5,760	5,616	5,616	5,616	5,616	5,616	5,616
事務・技術(人)	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

383 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0128
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 03850 医療費適正化対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-69-00-01-00	医療費適正化対策事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)医療費通知の発送回数	回数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)柔道整復療養費に係る患者照会回数	回	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
		11.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後発医薬品の使用率	%	84.50	85.50	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		79.60	81.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)レセプト再審査請求による査定減額	千円	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		7,423.00	10,553.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	レセプト点検等の実施により医療費適正化の効果が上がっている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	後発医薬品の使用率が政府目標の80%を上回っているため。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	県内全市町との共同事業化に取り組んでいる。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	過剰な医療行為や不正を防ぎ、国保財政の安定化に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図るため、県内全市町との共同事業を実施しながら、医療費適正化対策事業を進めていく。柔道整復療養費支給申請書の内容点検・患者照会については、令和4年度からはり師、きゅう師及びあんま・マッサージ指圧師の施術も対象としている。令和5年度は患者照会を拡充し、医療費の適正化に向けて取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢化の進展や医療の高度化を背景に、国保財政収支は今後も厳しい運営が続くことが見込まれる。持続可能な国民健康保険の運営の実現のため、医療費適正化対策事業を推進していく。		

